

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2020年11月13日

上場会社名 Chatwork株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4448 URL https://go.chatwork.com/ja/
 代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員CEO (氏名) 山本 正喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO兼コーポレート本部長 (氏名) 井上 直樹 (TEL) 03(6459)0514
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の業績 (2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,774	35.2	287	366.9	288	533.0	286	477.3
2019年12月期第3四半期	1,312	—	61	—	45	—	49	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年12月期第3四半期	7.82		7.20					
2019年12月期第3四半期	1.38		1.37					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	2,494	1,807	72.5
2019年12月期	2,008	1,478	73.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,807百万円 2019年12月期 1,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—		
2020年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,425	33.6	289	272.7	291	367.7	280	357.3	7.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年12月期3Q	36,691,096株	2019年12月期	36,600,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年12月期3Q	41株	2019年12月期	—株
-------------	-----	-----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期3Q	36,613,666株	2019年12月期3Q	36,024,176株
-------------	-------------	-------------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

業績の状況

当第3四半期累計期間において、継続的な事業成長の実現に向け、引き続き新規顧客獲得に向けた営業活動の強化、Webマーケティング活動の強化、既存サービス機能強化に積極的に取り組んでまいりました。また、前事業年度までは、ソフトウェア開発にも関わる費用に関しましては売上原価としておりましたが、当第1四半期よりソフトウェア開発に関わる費用の内、資産性がある新規開発プロジェクトについては無形固定資産として計上しております。この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高1,774,847千円、営業利益287,906千円、経常利益288,327千円、四半期純利益286,252千円となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りです。

(Chatwork事業)

Chatwork事業は、引き続き主力サービスである「Chatwork」の利点を訴求し、新たな機能追加と顧客の開拓に努めました。以上の結果、売上高1,544,035千円は、セグメント利益174,146千円となりました。

なお当事業が当社の主力事業であり、本社機能も含めて各間接費の全てが当事業の維持・拡大のために費やされていることから、間接費の全額を当事業における費用として計上しております。

(セキュリティ事業)

セキュリティ事業については、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。但し足許は在宅ワークの環境拡大の影響を受けた結果、売上高230,811千円は、セグメント利益113,760千円となりました。なお、当事業のセグメント利益については、前述のとおり間接費を全てChatwork事業にて計上していることから、当事業の売上高より当事業に要した広告宣伝費、販売促進費及び業務委託費等の直接経費のみを控除した金額を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べて485,420千円増加し、2,494,402千円となりました。これは主に事業拡大により現金及び預金が165,151千円増加、売掛金が42,613千円増加したことによります。また、第1四半期会計期間より計上しました無形固定資産が102,509千円増加したことによります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて155,975千円増加し、686,483千円となりました。これは主に事業拡大にともなって前受金が111,223千円増加、未払費用が17,100千円増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期会計期間における純資産は、前事業年度末に比べて329,444千円増加し、1,807,918千円となりました。これは利益剰余金が286,252千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高につきましては新型コロナウイルス感染症によるテレワーク需要により好調ではあるものの、需要の一巡により2,425百万円（前事業年度比+33.6%）となる見通しでございます。

営業利益以下の段階利益につきましてはシステム原価の資産計上、コスト効率の改善により前回業績予想の範囲内となる見込みです。業績見通しの詳細は下記の通りでございます。

売上高	2,425百万円 (前期比)	+33.6%
Chatwork事業 売上高	2,131百万円 (前期比)	+33.3%
売上総利益	1,748百万円 (前期比)	+55.0%
営業利益	289百万円 (前期比)	+272.7%
経常利益	291百万円 (前期比)	+367.7%
当期純利益	280百万円 (前期比)	+357.3%

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,531,768	1,696,919
売掛金	145,986	188,599
その他	112,631	226,794
流動資産合計	1,790,386	2,112,314
固定資産		
有形固定資産	84,055	75,999
無形固定資産	69	102,578
投資その他の資産		
その他	135,186	204,225
貸倒引当金	△716	△716
投資その他の資産合計	134,470	203,509
固定資産合計	218,595	382,087
資産合計	2,008,982	2,494,402
負債の部		
流動負債		
未払金	131,923	136,953
未払費用	75,481	92,582
未払法人税等	42,036	45,987
前受金	210,674	321,897
その他	70,393	89,063
流動負債合計	530,508	686,483
負債合計	530,508	686,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,358,138	1,379,755
資本剰余金	1,343,998	1,365,615
利益剰余金	△1,223,663	△937,411
自己株式	—	△42
株主資本合計	1,478,473	1,807,918
純資産合計	1,478,473	1,807,918
負債純資産合計	2,008,982	2,494,402

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,312,496	1,774,847
売上原価	497,648	486,855
売上総利益	814,847	1,287,991
販売費及び一般管理費	753,188	1,000,085
営業利益	61,659	287,906
営業外収益		
受取利息	5	13
固定資産売却益	—	1,138
補助金収入	750	—
雑収入	1,210	35
営業外収益合計	1,967	1,188
営業外費用		
上場関連費用	8,970	—
為替差損	961	736
新株予約権発行費	180	—
株式交付費	7,963	30
営業外費用合計	18,075	766
経常利益	45,550	288,327
税引前四半期純利益	45,550	288,327
法人税、住民税及び事業税	22,553	47,103
法人税等調整額	△26,584	△45,028
法人税等合計	△4,030	2,075
四半期純利益	49,581	286,252

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatwork事業	セキュリティ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,157,617	154,879	1,312,496	1,312,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,157,617	154,879	1,312,496	1,312,496
セグメント利益又は損失(△)	△10,102	71,762	61,659	61,659

(注1)セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注2)当社における主力事業はChatwork事業であり、本社機能も含めて間接費の全てがChatwork事業の維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatwork事業にて計上しております

当第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatwork事業	セキュリティ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,544,035	230,811	1,774,847	1,774,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,544,035	230,811	1,774,847	1,774,847
セグメント利益	174,146	113,760	287,906	287,906

(注1)セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注2)当社における主力事業はChatwork事業であり、本社機能も含めて間接費の全てがChatwork事業の維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatwork事業にて計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。